



ウ オ ッ チ ン グ

イベント

WATCHING

こうべバイオガスで「環食しよう!」提案

こうべバイオガスを食の輸送に活用し、クリーンな食のリレーを地域ぐるみで完成させようという新たな試みがスタートしました。「環食しよう!」を合言葉に、3月20日、神戸市東水環境センターで開催されたイベントには、約700名の市民が参加しました。

「環食しよう!」イベントは、神戸市「第8回アーモンド並木と春の音楽会」の開催に併せ、キッチンから考える水の循環実行委員会と神戸市の共催で開催されました。環食（かんしょく）には、①食べ物に感謝して残さず食べる（完食）、②地球に負荷を与えない“やさしい食”の実践（環境）、③下水道に集まる食べ残しなどを資源に変えて食卓に戻す（循環）——の3つの想いが込められています。

当日は、地元JAの野菜を使ったミネストローネが無料で参加者に振る舞われました。食材は、そのほとんどが、こうべバイオガスを使いクリーンに会場まで運ばれたものです。主催者は、下水処理場を

核に、「食べ物由来の資源を食の循環の中に戻していこう」と訴えました。参加者は料理を味わいつつ、自らが食のリレーの中にいること、食べ物を「食べて終わり」、食べかすを「捨てる終わり」ではなく、受けたバトンを次の走者が走りやすいように“つなぐ”ことにより、持続的な食のリレーが完成すると学びました。

実行委員会では今後、バイオガスで運ばれた食材を示す「環食マーク」の作成にも取り掛かりたい意向を示しています。近い将来、環食マークが店頭に並ぶようになれば、継続的な下水道の見える化も期待できそうです。



ブース前にバイオガス車を展示



建設局のマスコットも登場



10～20名単位の入れ替えで延べ約700名にPR



アーモンド並木と消化タンク